

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：

アレルギーを含めた免疫系の障害による疾病に対する理解と生活習慣の免疫系への影響をテーマに、この授業では、全身免疫および粘膜局所免疫の成立、アレルギー疾患との関連性、ストレスと免疫、免疫系の日内変動について理解し、免疫とその関連分野の研究事例を調査して、理解できることを到達目標とする。本授業はディプロマポリシーの栄養学または保健学の幅広い視野に立って精深な学識を有するに関連している。

授業の概要：

免疫の関連する疾患や生活習慣と免疫について講義を行い、各受講者の関心のある事柄についてディスカッションし、理解を深める。

【授業計画】

- ①② 免疫の基礎-からだを護る免疫のしくみ
- ③④ 免疫系のサーカディアンリズム-体内時計の機構と健康維持の役割
- ⑤⑥ ストレスと免疫-神経・内分泌系と免疫系の相互作用
- ⑦⑧ 粘膜局所免疫-異物侵入に対する予防装置としての粘膜免疫
- ⑨⑩ アレルギー-免疫学的機序による組織障害、食物アレルギーとその対処
- ⑪⑫ 腸内フローラのはたらきと免疫
- ⑬⑭ 食と免疫-サプリメントの利用など

【授業外学習】

積極的な授業参加に向けて、各回講義のキーワードや履修者が予定している研究テーマと本特論との接点について文献検索し、事前に読んでおくこと(週 200 分)。

【成績評価の方法・基準】

講義内容の討論への参加により評価する。

【教科書】

パワーポイント資料など随時プリントを配布する。

【参考書】

「新版微生物と免疫」(林 修編著、建帛社)、「栄養科学イラストレイテッド 生化学 改訂第2版」(園田 勝編、羊土社)、「時間生物学事典」(石田直理雄・本間研一編、朝倉書店)、「ストレスの事典」(河野友信・石川俊男編、朝倉書店)、「免疫と栄養」(横越英彦編、幸書房)、「臨床粘膜免疫学」(清野 宏編、シナジー)

【教材】

PC プロジェクター、講義用パワーポイントスライド

【備考】

状況に応じてオンライン授業も併用することがある。